

## 第7章 河川空間の利用状況

### 7-1 河川空間の利用状況

#### 高水敷利用状況

鈴鹿川における高水敷利用は、広い高水敷をもつ下流部に多く、運動場・公園として多くの市民に利用され、いこいの場所となっている。特に庄野橋周辺の鈴鹿川河川緑地や内部川との合流点付近の鈴鹿川緑地では、利用面積も広く野球場、サッカー場、運動広場、テニスコート等があり、休日などは多くの市民に利用されている。

中流部では、牧草地として利用されることが多くなっている。上流部には高水敷がほとんどないため、利用はほとんど見られない。

鈴鹿川直轄区間におけるレクリエーション利用施設等の占用数は16件、その他（牧草地等）として9件である。

表7-1 鈴鹿川の河川空間利用

河川名	No	距離標 (km)	左右岸	施設名	種類	施設面積 (m <sup>2</sup> )	管理者名	一般利用
鈴鹿川	1	3.6	左岸	鈴鹿川緑地	運動場	92,860	四日市市	可
	2	4.4~4.6	右岸	運動広場	運動場	42,030	四日市市	可
	3	5.2~5.8	左岸	運動多目的広場	運動場	24,818	四日市市	可
	4	5.8	左岸	運動(スポーツ)広場	運動場	11,458	鈴鹿市	可
	5	6.6	右岸	鈴鹿市都市計画高岡公園	運動場	358	鈴鹿市	可
	6	11.2~11.8	右岸	鈴鹿川河川緑地	運動場	158,249	鈴鹿市	可
	7	13.2	左岸	運動(スポーツ)広場	運動場	1,999	鈴鹿市	可
	8	13.3	左岸	運動(スポーツ)広場	運動場	20,950	鈴鹿市	可
	9	14.8	右岸	運動(スポーツ)広場	運動場	13,841	鈴鹿市	可
	10	15.6	左岸	運動広場	運動場	1,431	鈴鹿市	可
	11	27.4	左岸	町民運動場	運動場	6,692	亀山市	可
安楽川	12	0.6	左岸	運動広場	運動場	3,750	鈴鹿市	可
鈴鹿川派川	13	1.6	右岸	運動広場	運動場	6,305	四日市市	可
鈴鹿川	1	2.4	左岸	児童遊園地	公園	365	四日市市	可
	2	20.0~22.4	右岸	「川の一里塚」公園	公園	2,431	亀山市	可
鈴鹿川	1	6.8~11.4	右岸	鈴鹿川サイクリングロード	サイクリングロード	2,000	鈴鹿市	可
鈴鹿川	1	14.4~15.8	右岸	牧草地	その他	4,422	鈴鹿市酪農業協同組合	不可
	2	14.4~15.8	左岸	牧草地	その他	24,760	鈴鹿市酪農業協同組合	不可
	3	14.4~15.8	左岸	牧草地	その他	4,774	鈴鹿市酪農業協同組合	不可
	4	14.4~15.8	左岸	牧草地	その他	7,749	鈴鹿市酪農業協同組合	不可
	5	14.4~15.8	左岸	牧草地	その他	3,962	鈴鹿市酪農業協同組合	不可
	6	26.0~26.4	左岸	牧草栽培地	その他	5,090	関町酪農組合	不可
	7	26.2~27.0	左岸	牧草栽培地	その他	38,653	関町酪農協同組合	不可
	8	26.8~27.2	左岸	牧草栽培地	その他	2,038	関町酪農組合	不可
	9	27.4~27.6	右岸	牧草地	その他	28,710	関町畜産組合	不可

(出典：国土交通省水情報国土HP)

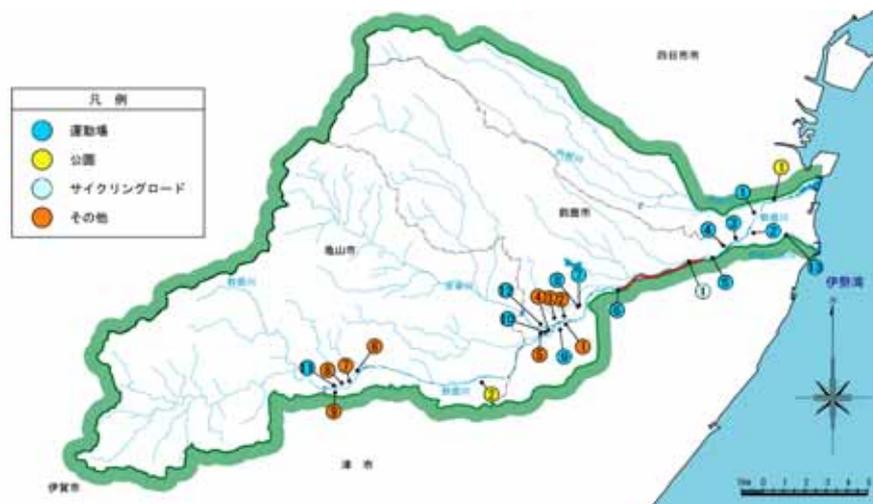


図7-1 鈴鹿川の河川空間利用施設位置図

図中の数字は表7-1に対応



### 庄野橋下流の鈴鹿川河川緑地

15.8万㎡の広さがあり、最も広い面積を有している。野球場、運動広場、クリケットボールコート3面、ソフトボール場2面、テニスコート4面、多機能芝生広場などに利用されている。



### 鈴鹿川緑地

内部川との合流点に位置し、野球場、運動広場などに利用されている。

## 年間利用状況

平成15年度に実施された「河川水辺の国勢調査（河川空間利用実態調査）」における直轄管理区間での鈴鹿川河川空間利用者数（推計）は、約49万人である。

利用形態では、スポーツが68%と最も多く、次いで散策等が28%で、両者あわせて96%を占めている。

利用場所は、高水敷が91%と最も多く、次いで堤防が5%で両者で96%を占める。水際は3%、水面は1%と低い利用状況となっている。

高水敷利用は、広い高水敷をもつ下流部に多く、運動場・公園として多くの市民に利用され、いこいの場所となっている。特に庄野橋周辺の鈴鹿川河川緑地や内部川との合流点付近の鈴鹿川緑地では、利用面積も広く、野球場、サッカー場、運動広場、テニスコート等があり、休日などは多くの市民に利用されている。

区分	項目	年間推計値(千人)		利用状況の割合	
		平成12年度	平成15年度	平成12年度	平成15年度
利用形態	スポーツ	139	334		
	釣り	0	2		
	水遊び	19	22		
	散策等	93	136		
	合計	252	494		
利用場所	水面	0	3		
	水際	18	13		
	高水敷	232	452		
	堤防	2	26		
	合計	252	494		

図7-2 鈴鹿川の河川空間利用状況

## 7 - 2 河川の利用状況

鈴鹿川上流部は、豊かな渓谷美を背景としたキャンプ場などがあり、自然を活用したキャンプや釣りなどの利用が行われている。特に、安楽川上流部の石水渓、内部川上流部の宮妻峽、御幣川上流部の小岐須渓谷では、初夏の新緑や秋の紅葉など渓谷美を楽しむ景勝地として、また、キャンプ場として多くの人々が利用している。

猿田彦大社の総本社といわれる椿大神社のほとりを流れる鍋川上流には椿溪谷があり、キャンプ場としても多くの人に利用されている。

また、東海自然歩道なども川沿いに整備されており、鈴鹿山脈への登山道や川沿いのハイキングなどにも利用されている。



名阪森林パーク

自然林の中に造られた森林公園で、マスの渓流釣りやつかみ取り、薬草園、炭焼かま、パターゴルフ場があり、子供からお年寄りまで楽しめる。



アユ釣り専用区（加太川）

鈴鹿川の JR 大和橋鉄橋から加太川一の湯堰までの区間は、アユ釣り専用区として確定され、シーズン期間中はアユの友釣りが行われている。

中流部は、旧東海道の関宿などが往時の姿を色濃く残しており、かつての暇道である大岡寺には桜並木が整備されるなど、歴史と調和した利用が行われている。

また、夏には鈴鹿川の河川敷で花火大会が行われ、多くの人でにぎわいを見せる。



大岡寺暇の桜並木  
【出典：亀山市観光協会 HP】



関宿納涼花火大会  
【出典：亀山市観光協会 HP】

鈴鹿川の河川敷において毎年 8 月に花火大会が行われ、バラエティ豊かな花火が打ち上げられる。

下流部は、高水敷が広くなり、公園や緑地等の施設利用が主体となっている。庄野橋下流には鈴鹿川河川緑地公園として、グラウンド、運動広場、テニスコートなどが整備され、ここから下流の高岡橋付近までサイクリングロードが整備されている。また、内部川合流点付近では、鈴鹿川緑地としてグラウンド等が整備されている。

このほかにも、各所に運動広場や公園等が整備され、地域住民の憩いの場として利用されている。

イベント利用としては、鈴鹿川バルーンフェスティバルが鈴鹿川河川緑地公園で毎年行われており、大勢の人々でにぎわいを見せる。



鈴鹿川バルーンフェスティバル



鈴鹿川サイクリングロード